

『C プログラミング —情報技術入門—』 正誤表

下記の通り間違いがありました。訂正してお詫び申し上げます。

初版 1 刷

2005-09-13

頁	誤	正
p.63 prog5-2.c の 13 行目	<pre>main() { int a[9][9]={ {1,2,3 (中略) } (セミコロン欠落) int b[10][10];</pre>	<pre>main() { int a[9][9]={ {1,2,3 (中略) }; int b[10][10];</pre>
p.85 prog6-6.c の ↑2 行目	<pre>printf("%s\n",b); }</pre>	<pre>printf("%s\n",b); }</pre>
p.98 10 行目	新たな内容 (prog7-2.txt) で上書きされて	新たな内容 (prog7-2.c) で上書きされて
p.108 prog7-7.c の 7 行目	<pre>if(k%16==0){ /* 16 文字ごとに… fprintf(fpo, "\n"); } (字下げと閉じ括弧の欠落)</pre>	<pre>if(k%16==0){ /* 16 文字ごとに… fprintf(fpo, "\n"); } }</pre>
p.144 ↑3 行目	filename のかわりに, tt & をつけて指定	filename のかわりに, & をつけて指定
p.151 prog10-10.c の 1 行目	<pre>#include <stdio.h> #include <string.h> #define WMAX 7 (改行なし)</pre>	<pre>#include <stdio.h> #include <string.h> #define WMAX 7</pre>
p.151 prog10-10.c の ↑2 行目	<pre>disp_result(word); }</pre>	<pre>disp_result2(word); }</pre>
p.154 1 行目	解答例 : (プログラム名欠落)	解答例 : (prog10-12-13.c)
p.163 ↑10 行目	プログラム例 (prog14-1.c) を	プログラム例 (prog11-1.c) を
p.165 3 行目	プログラム例 (prog14-2.c) を	プログラム例 (prog11-2.c) を

頁	誤	正
p.166 9行目	プログラム例 (prog14-3.c) を	プログラム例 (prog11-3.c) を
p.167 ↑14行目	プログラム例 (prog14-4.c)	プログラム例 (prog11-4.c)
p.167 ↑6行目	プログラム例 (prog14-5.c)	プログラム例 (prog11-5.c)
p.168 18行目	プログラム例 (prog14-6.c)	プログラム例 (prog11-6.c)
p.168 の ↑11行目 prog10-6.c	scanf("%d %d %d %d %d %d", (引用符欠落)	scanf("%d %d %d %d %d %d",
p.170 9行目	(prog14-4c) を以下に示します.	(prog11-7.c) を以下に示します.
p.169 7~8行目	} 実行例 (空行なし)	} 実行例

(注 網がかかった箇所はダウンロード版プログラムでは修正済みです)